

## 4年制大学への編入学を希望する学生へ

キャリア支援委員会

### 1. 準備を始める前に

編入学は4年制大学の3年次（一部の大学では2年次）に入学する制度で、そのためには編入学試験を受けて合格する必要があります。編入学試験は、全国の様々な大学で実施されます。まずは自分が何を学び、どのような職に就きたいのか、そのためにはどの大学に行くことがよいかを整理するようにしてください。

本学に編入学試験の案内が届いた大学の一覧は、校舎棟1階の編入学掲示板および管理棟2階のキャリア資料室に掲示しています。随時更新されますので、定期的に見るようにしてください。また、全ての大学から本学に案内が届くわけではありません。編入学試験の情報は各大学のホームページ（HP）を参照してください。特に志望大学のHPはしっかり確認してください（コロナの感染状況によって試験の延期・中止もあり得ます）。

### 2. 編入学試験について

編入学試験は年間を通じて各大学で実施されます。試験には大きく分けて①一般推薦、②指定校推薦、③一般試験があります。①、②は本学からの推薦が必要となります。推薦を得るには、2年次に学内セレクションに応募し、合格する必要があります（学内セレクションについては後述）。各試験の特徴は以下のとおりです。

#### ①一般推薦

主に国公立大学において実施される推薦入試です。本学の推薦を受けた人が受験可能です。国公立大学は人気が高く、たいてい競争入試となるため不合格になることもあります。また、推薦入試なので、合格した場合はその大学に入学することが条件になります。推薦入試の結果が出るまでは、他大学に併願することはできません。不合格が判明すれば、別の推薦を受けることも可能になります。三重大学人文学部法律経済学科の場合、学内セレクションにおいて例年7名を本学から推薦しています。

#### ②指定校推薦

主に私立大学で実施される推薦入試です。本学に与えられた指定枠の学生を推薦します。一定以上の成績を出願条件としている場合もあります。試験はたいてい面接で合否を判定し、合格率は高い傾向にあります。一般推薦同様、合格した場合はその大学に入学することが条件になります。私学の場合、国公立より学費負担も大きくなります。経済的に厳しい場合は奨学金制度を利用できますが、一部の給付奨学金を除き、将来返済義務がある貸与奨学金となります。出願前に、学費負担者とよく相談するようにしてください。なお、指定校推薦の場合に限り、願書は学生部から被推薦者にお渡しします。

### ③一般試験

推薦書の提出が必要ない入試です。複数の大学を併願することが可能で、合格しても入学を辞退できます。大学によっては、TOEICの結果を求められることもありますので、そのような大学の受験を考えている場合は、あらかじめTOEICを受けておくようにしてください（一概に言えませんが600点以上は最低限必要です）。入試では小論文、英語などの学力試験が課され、専門性を問う試験を実施する大学もあります。キャリア資料室の募集要項を参考にして、志望大学の試験内容を調べ、指導教員とよく相談しながら、試験対策を進めてください。三重大学人文学部法律経済学科の場合、課題図書に関する小論文と面接が試験科目となります。2020年の課題図書は後藤健太著『アジア経済とは何か』（中公新書）でした。

## 3. 編入学講座について

来年度前期にも編入学講座をオンラインで実施する予定です。受講には申込みと受講料1万円が必要になる見込みです。募集は掲示板への掲示及びHP掲載等で行いますので、受講希望者は学生部まで申し出てください。

なお、講座内容は、小論文対策を8コマ、英語対策を8コマの合計16コマとなります。どちらか一方のみの申込は出来ません。

## 4. 編入学の相談・対策について

編入学試験の相談については、担当教員またはゼミ教員または学生部長に相談してください。小論文の添削や面接練習についても担当教員またはゼミ教員の指導を受けるのが基本です。他の教員に指導を受けたいときは、担当教員またはゼミ教員を通じてお願いするようにしてください。

## 5. 編入学学内セレクションについて

一般推薦、指定校推薦に推薦する学生を決定するため、2年次に3回に分けて学内セレクションを実施する予定です（本年度の日程は下記参照）。第1回と第2回セレクションでは1年次終了時点で修得単位数が卒業要件の半分以上であること及びGPAが2.4以上であることが出願条件となり、第3回では2年次前期終了時点で、修得単位が卒業要件の4分の3以上であること及びGPAが2.4以上であることが出願条件となります。

学内セレクションには、第1希望大学から第3希望大学まで申請可能です。推薦希望者多数の大学の場合は、希望順位、GPA、修得単位数などを総合的に判断して決定します。たとえ第3希望の大学でも推薦を受けられることが決定したら、必ず試験を受け、合格したときは入学してください。行く気がない大学を希望大学に挙げることをないようにしてください。

参考) 2020年度 編入学学内セレクションの日程について

- ・第1回セレクション (出願締切が7月末までの推薦編入学試験が対象)  
募集: 4月9日(木)～4月20日(月) 発表: 4月24日(金)
  
- ・第2回セレクション (出願締切が9月末までの推薦編入学試験が対象)  
募集: 7月6日(月)～7月27日(月) 発表: 8月3日(月)
  
- ・第3回セレクション (出願締切が10月以降の推薦編入学試験が対象)  
募集: 8月24日(月)～9月18日(金) 発表: 9月28日(月)

## 6. よくある質問について

(1) 編入学試験と公務員試験の併願は可能ですか。

可能です。ただし、例年、併願を希望する学生はいますが、両方で合格する学生は、ほとんどいない状況です。これは、編入学と公務員では試験の内容が異なるため、学業と勉強の両立が困難になるからだと考えられます。また、公務員試験日程が前倒しになっています。並行して受験するのは、とても困難となっていることを覚悟してください。

(2) 編入学のときに、違う分野の学部を受験できますか。

出願資格に制限がなければ可能です。しかし、違う分野への編入を希望する場合、編入学試験で課される科目が現在学んでいる専門科目と異なりますし、面接試験でも志望動機についてこれまでの学びとの関係をしっかり説明する必要があります。また無事に試験に合格しても、先方の大学で履修が必要な専門科目の単位数がかなり多くなる可能性があります。したがって、あまりお勧めはできません。

(3) 学内セレクションへの申込みは過年度生や卒業生でも可能ですか。

過年度生や卒業生(一部の大学では推薦可能となっている)の取扱いについては、学内セレクションへの申込みは受け付けるものの、推薦の可否の判定では2年次生を優先的に選考するものとし、その後、推薦枠が残っている場合に選考対象とします。